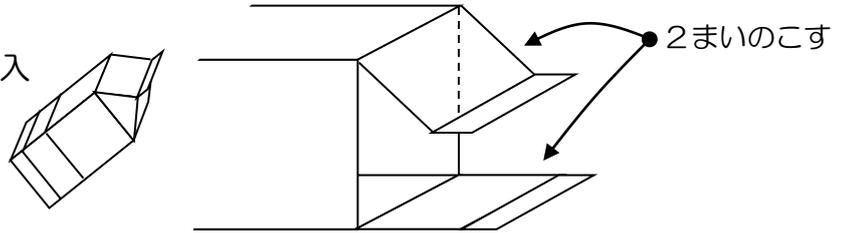


すいすいバス

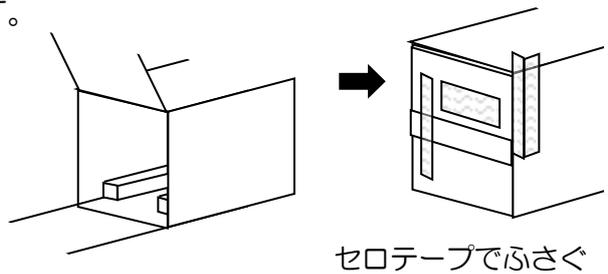
さいたま市立博物館
おうちミュージアム



- 1 りゅうパックの上のふたぶん
(ひらいているほう)にはさみを入れ、
2まいきりとります。



- 2 りゅうパックのおなかの中におもり
(かんでんちなど)をはりつけます。
りゅうパックのひらいている口を
セロテープをつかってとじましょう。

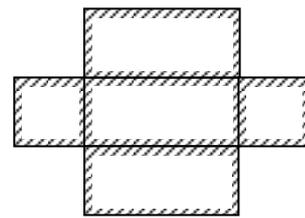


- 3 バスのかたがみをきりとって、りゅうパックに「のり」をつかってはります。

ちゅうい

「のり」は、かみのまわりだけにつけましょう。

のりをつけるところ(まわりだけ)



- (1) はじめに「やね」をはります。
- (2) 「よこ(右・左)」をはります。
- (3) 「うしろ」をはります。(りゅうパックのそこ)
- (4) さいごに「まえ」をはります。(口がひらいているほう)

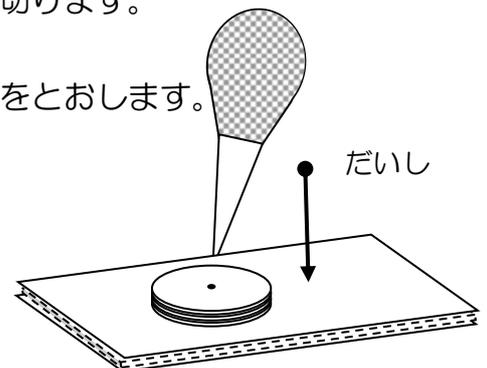
- 4 竹ひごを切ります。

- 5 カッターやハサミで、段ボールやあつ紙から、タイヤを4こ切りぬきます。
材料や大きさなどよく走るために、どのようなタイヤがいいかためてみましょう。
「竹ひご」を2本、牛乳パックのはばより少し長く切ります。
ストローを2本、牛乳パックのはばと同じくらいの長さに切ります。

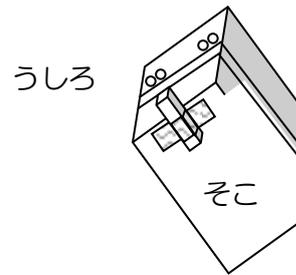
- 6 「めうち」や「きり」をつかってタイヤに穴をあけ竹ひごをとおします。

ちゅうい

- ★ 手をささないようにおちついてつかいましょう。
- ★ かならず、だいしの上でつかいましょう。
- ★ あなが、ゆるゆるにならないようにきをつけます。



7 わりばし（みじかくきったもの）をバスのそこに
にボンドではりつけ、セロテープでとめます。

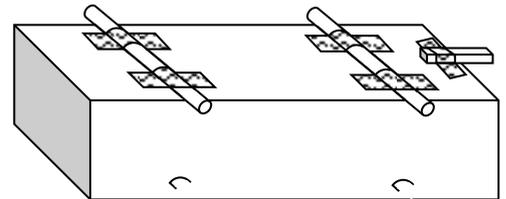


8 ストローを2本、バスのそこにセロテープではり
つけます。

ストローをつけるばしょも

いろいろためしてみましょ。

（セロテープ3まいでとめましょ）



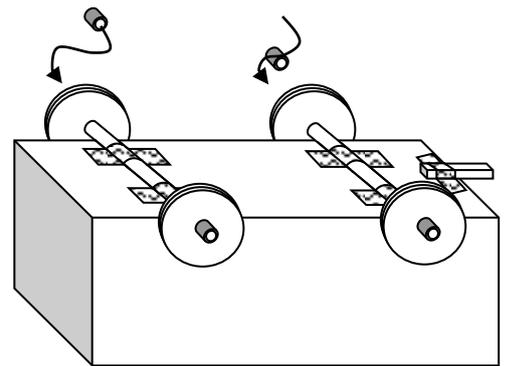
ちゅうい

★ストローがまがらないようにはりましょ。

9 ストローに「ひご」をさしこんで、タイヤをはめます。
タイヤを「ビーズ」ではさみます。

ちゅうい

★ タイヤがはめずらいときは、「めうち」
であなをひろげましょ。



バスのイラストをかいたり、
色をぬったりしてみよう！

10 わゴムを3つつなげて、ゆかにセロテープでとめ、
バスのわりばしにひっかけて、わゴムがのびる力を
つかって、バスを走らせてみましょ

ちゅうい

★ どうしたらとおくまでバスを走らせること
ができるか、いろいろためしてみましょ。
★ ゆかにはったセロテープは、かならずはがし
てね。

